

学校教育目標	「豊かなかわりを通して 共に高め合い 主体的に取り組む子」 (知) 互いに学び合うことを通して、自ら進んで学び続ける力を育てます。 (徳) 挨拶を大切に、他への感謝の気持ちや他を思いやる態度を育てます。 (体) 自他の命を大切に、心身ともにたくましく生きる力を育てます。 (公) 地域と社会に進んでかかわろうし、他者と協働する力を育てます。 (開) コミュニケーション力を高めて、社会の変化に対応できる力を育てます。					
学校概要	創立 36 周年	学校長 小嶋 千里	副校長 高島 智子	2 学期制	一般学級: 19	個別支援学級: 3
	児童生徒数: 637 人	主な関係校: 山内中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	山内中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<問題発見・解決能力> <コミュニケーション能力> <自分づくりに関する能力>	山内中学校 山内小学校 元石川小学校 美しが丘西小学校	■思いやりや感謝の気持ちを持ち、互いを尊重し合って生活できる子ども ■自ら進んで問題解決に取り組み、学ぶ楽しさを感じ、他者と関わり合いながら考えを深め、行動できる子ども ■学校・家庭・地域・社会などの多様なかわりを大切に、社会の変化に柔軟に対応しながら未来をつくる子ども  ①小中合同授業研究会 ② 横浜子ども会議 ③人権講演会 ④キャリアパスポートの効果的な活用 ⑤ 中学校の授業参観、中学校紹介、吹奏楽部出張演奏、中学部活動体験

中期取組目標	○学校全職員で活力と魅力のある学校づくりを目指します。 ・教科分担制の拡充とICT活用で、「子どもが考える」授業づくりを推進します。 ・学校・まち・地域の良さを取り入れ、子どもの実感を大切に学習づくりをめざします。 ・学校保健委員会、体育朝会、食育、学習などを通し児童の体力と健康意識の向上に取り組めます。 ・挨拶を大切に、様々なかわりやコミュニケーションを通して多様な考えを認め合える態度を育成します。
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	確かな学力	①ICTを活用した授業づくりをさらに進め授業改善につなげるとともに、ルールやモラルを含めたデジタル・シティズンシップ教育を推進する。②重点研究テーマ「主体的に学習に取り組み、自分の思いや考えを伝え合う子」のもと、国語科を軸に協働的な学習活動を充実させ、コミュニケーション力の育成をめざす。
担当	研究研修部	
徳	豊かな心	①ペア学年活動、児童会活動、登校班、行事など様々な交流を通して、他者への共感や思いやりを育み、自分のよさを実感できるようにする。②道徳、全校行事、代表委員会、人権週間、朝会などを通して、学校や学級の諸問題や解決を考える中で、社会への参画意識や生活の主体者としての意識を高める。
担当	児童支援部	
体	健やかな体	①体育朝会や体力づくり週間を計画的に実施し、日常の中で体を動かすよさを味わえるようにする。 ②自分の体や健康に関心を持ち生活の主体者としての意識を高められるよう、6年間を通じて系統的な食育指導や保健指導を行う。
担当	保健安全部・体育部	
公開	まちや地域の中の自分づくり	①地域の良さをいかした教育活動を推進し、教育課程に位置付ける。農業に係る学習材、駅や商店街など地域の材、保護者や外部の教育力を積極的に活用する。②地域散策、夕涼み会、どんと焼き、餅つき等、地域行事への積極的な参加を啓発し、地域への愛着をより感じられるようにする。
担当	教務部・研究研修部	
いじめへの対応		①YPアセスメントの活用、いじめ防止のための児童アンケートや担任面談を複数回実施し、児童の実体把握や早期発見に努める。②いじめ防止対策委員会を定期的に開催し、いじめに対しては組織的に対応し指導を行う。保護者との連携をとり、協力して解決を図る。
担当	児童支援部・専任	
人材育成・組織運営(働き方)		①校内メンター研修を人材育成の中心に位置づけ、教科指導、学級指導、行事運営、校務分掌等におけるOJTを計画的に行っていく。②教員一人ひとりが学びのコーディネーターとして、体験活動、出前授業、外部講師などを積極的に活用を促し、カリキュラムマネジメント力の向上を図る。
担当	教務部	
特別支援教育		①教室のUD化やスタンダード共有の取組は継続した上で、合理的な配慮について研修を行い、支援の向上につなげる。②特別支援委員会を中心に組織的な支援を行うようにするとともに、カウンセラーやSSW・療育センター・区役所・児相等の関係機関との連携をとる。
担当	児童支援部・国際教室	
国際理解教育		①オーストラリア姉妹校とオンラインを含めた交流を外国語・外国語活動のカリキュラムと関連づけ、計画的に実施することで、英語学習への興味関心を高める。②IUIや國學院大學留学生との交流活動を通して、様々な国の理解を深め、多様性や共生について児童の意識を高める。
担当	児童支援部・外国語部	
幼保小連携・学年チーム経営		①幼保小連携推進事業2年目として、スタートカリキュラムの改善を通して接続期の育ちを学びへつないでいく。②スタートカリ、専科、教科交換を軸に学年チームで指導を行い、より多くの大人がかかわる良さ、教材研究の効率化を児童指導、児童理解の向上につなげる。
担当	各学年・幼保小担当	
学校運営協議会		①年3～4回の学校運営協議会を開き、授業参観や行事を通して学校の様子を共有し、地域とともによりよい学校運営を図る。②教職員や保護者、地域を含む関係者が学校運営協議会組織をより理解し、その良さを共有できるように、学校だより、学校HPを通して積極的に発信する。
担当	教務部	